

令和6年4月19日

「創意と活力」のある学校づくり推進事業報告書

春日井市立高座小学校

校長 近藤 久美子

<p>事業テーマ</p>	<p>すべての子が「分かった」「できた」を目指す授業のユニバーサルデザイン化 ～児童が安心して学べる学級づくりを通して～</p>
<p>取組の目的</p>	<p>本校は授業のユニバーサルデザイン化（以下、授業UD化）に取り組み、特別支援教育の視点から教科教育を考え、勉強が苦手な児童だけではなく得意な児童も含めたすべての児童が「わかった」「できた」を実感できる授業づくりをすることで、学習を楽しめる児童の育成を目指している。</p> <p>昨年度はソーシャルスキルトレーニング（Tタイム）を取り入れ、授業UD化の土台となる、人間関係作り、学級経営に注力した。</p> <p>令和5年度はこれまでの取組を総合的に働かせることで、すべての児童が「わかった」「できた」を目指す授業UD化の実現を図った。</p>
<p>区 分 (○印を付ける)</p>	<p>新規事業・<b>継続事業</b>(総事業年数4年間、4年目)</p>
<p>継続事業の場合、昨年度の課題を踏まえて対応した内容</p>	<p>これまで授業UD化に必要な、基礎知識の学習、具体的な授業づくり、共有化に向けた人間関係づくりに取り組んできた。着実に準備は進められたものの、まだそれぞれがまとまっていない状態であった。これまでの取組の成果をまとめ上げることで、すべての児童が「わかった」「できた」を目指す授業UD化を実現させる。</p> <p>そして、安心して学べる学級づくりと分かりやすい授業づくりの両輪を回すことで、本校における授業UD化の体制が持続的なものになるよう、その基盤づくりを念頭に置いて計画を立てた。</p>

事業名	事業内容	実施時期
Q-U「楽しい学校生活を送るためのアンケート」実施①	○ Q-Uの実施と資料の見方についての学習、各学級の資料検討及び学年での情報交換	6/5(月)
Tタイム研修会・講演①	○ Tタイム実践参観・指導 ○ 演題「幸せな学校・学級づくりとスリンプル」 (講師：名城大学教授 曾山和彦先生)	6/9(金)
授業力向上研修会・講演	○ 全校研究授業・研究協議 ○ 講演「説明文の授業UD化」 (講師：名古屋女子大学准教授 堀部要子先生)	11/9(木)
Q-U「楽しい学校生活を送るためのアンケート」実施②	○ 2回目のQ-Uを実施、学級の変容や課題を捉え、今後の方策について検討	12/4(月)
Tタイム公開	○ Tタイムの保護者参観	1/23(火)
Tタイム研修会・講演②	○ Tタイム実践参観・指導 ○ 演題「笑顔あふれる学校文化を目指すならば」 (講師：名城大学教授 曾山和彦先生)	1/29(月)
先進校視察	○ 春日井市立西山小学校 ○ 筑波大学附属小学校	2/2(金) 2/10(土)
UD 授業研究 Tタイムミニ研修 Tタイム実践	○ 学年授業研究 年間17回 ○ 実践研修 年間7回 ○ 毎週木曜日15分間、全校体制で実施	通年 通年 通年
<p>取組の成果</p> <p>○ 授業のUD化について 特別に準備をしなくても実践可能な授業の公開をしたことで、日常実践の中で授業のUD化を図る方法について考えることができた。他の教師の授業を参観する機会が多くあることで、UD化のポイントについて繰り返し確認することができた。Tタイムの実践により、児童同士の関わりの力が高められるとともに、よりよい人間関係づくりが促進された。その中で主体的・協働的に学習に取り組む児童の姿が多く見られるようになった。また、教師の指示の中にも「Tタイムのように話し合おう」など、関わりの力を意図的に学習に生かす場面が見られるようになった。</p> <p>○ 研修について 専門家を講師に招聘して研修を実施し、そこで学んだことが日常の実践になるように、校内の人材を活用して定期的なミニ研修を継続した。指導方法の共通理解が進んだことで、校内現職教育での学びが学校全体での実践につながった。特にTタイムミニ研修については、人間関係づくりを教員同士が体験的に学び合ったため、職員間の人間関係づくりにも大いに役立った。</p>		
<p>課題</p> <p>本取組により実現できた「児童が安心して学べる学級づくり」が、持続可能な組織づくり・体制づくりになるように、学校全体で努力を積み重ねていきたい。</p>		